

けんびワークショップ【西条市】

～作品鑑賞や様々な創作活動を通しての発見～

◆活動の目的・理念

- 子どもの豊かな感性や表現力を養う
- 使ったことのない道具や材料を体験し、制作することの楽しさを味わう
- 芸術作品の鑑賞を通して、自分の意見を発表し、自分の意思表示ができるようになる

活動場所	中央公民館	対象学校区名	西条市内全域（小学校）	子どもの平均参加人数	14 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	8 日 日	13 : 30 ~ 15 : 30 : ~ :	活動のべ 日数	8 日 17 人
協働活動サポーターのべ人数	人			ボランティア のべ人数	16 人 元公民館職員、公民館職員
参加者募集	広報さいじょうに掲載 小学校を通じてチラシを配布	連携・協力 機関・団体	愛媛県美術館(学芸員)		

取組の概要

- <主な取組内容> (1)「木片から生き物を作ろう」 (2)「おひさま写真」 (3)「新聞紙で遊ぼう」
(4)「アートカードを使って」 (5)「大きな風船」 (6)「クリスマス糸巻きリース」
(7)「スチレン版画」 (8)「お話鑑賞プログラム」



●木片から生き物を作ろう

木片を釘やボンド等で止めて、生きものを作りました。



●おひさま写真

感光材を塗布した手提げ袋に葉や物を置き日光を当てて感光させ、物の形を写し取る。



●新聞紙で遊ぼう

手で破った新聞を使って、動物や花火など好きなものを描きました。



●大きな風船

ナイロン袋を切ったり、貼ったり、絵を描いたり、大きな風船できた!



●スチレン版画

色々な形のスチレン片を組み合わせて絵柄を付け、スチレン版画を楽しんだ。

児童の感想

- ・今日はどんなことをするのか、楽しみにしていました。
- ・全部おもしろかったし、楽しかったです。
- ・いろいろなものを作ったり、見たりするのがとても楽しかったです。
- ・他の学校のお友達ができてうれしかった。

<特色ある取組>

●愛媛県美術館学芸員による指導

芸術活動、鑑賞のプロが考えたプログラムを実施しているため、新しい体験が多く、一般では手に入れにくい材料を使って制作ができる。

事業を実施して

【成果】

- 初めての体験にワクワクしながら取り組み、工作などの楽しさを実感できた。
- 対話型鑑賞では、作品をじっくりみて感じたことを話し合い、いろいろな人の考えを聴くことができた。

【課題】

- 毎年、人気のワークショップで応募者が多く、参加者は抽選で決定しており、より多くの子どもに体験の機会を増やすことが課題である。